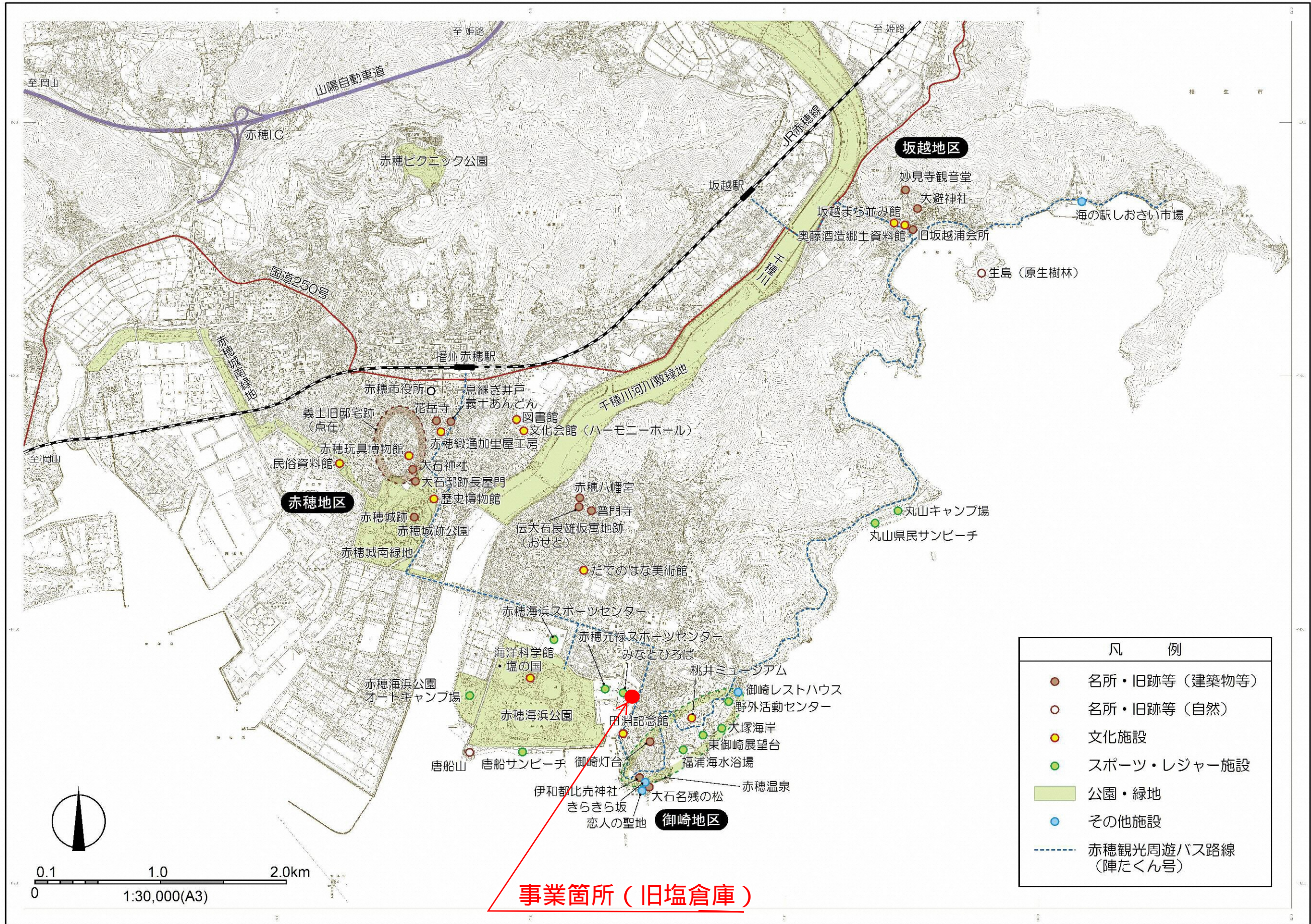


目次

- ・ 計画地の位置図
 - ・ 敷地図
 - ・ 現況の写真
- ・ 「あこう元禄“しお”回廊」参考資料
- ・ 赤穂市漁業協同組合が計画する集客施設参考資料

- ・ 計画地の位置図
 - ・ 敷地図
 - ・ 現況の写真
- ・ 「あこう元禄“しお”回廊」参考資料
- ・ 赤穂市漁業協同組合が計画する集客施設参考資料



凡 例	
● (brown)	名所・旧跡等 (建築物等)
○ (brown)	名所・旧跡等 (自然)
● (yellow)	文化施設
● (green)	スポーツ・レジャー施設
■ (light green)	公園・緑地
● (blue)	その他施設
--- (dashed blue)	赤穂観光周遊バス路線 (陣たくん号)

事業箇所 (旧塩倉庫)

主要施設位置図

- ・ 計画地の位置図
 - ・ **敷地図**
 - ・ 現況の写真
- ・ 「あこう元禄“しお”回廊」参考資料
- ・ 赤穂市漁業協同組合が計画する集客施設参考資料

- ・ 計画地の位置図
 - ・ 敷地図
- ・ **現況の写真**
 - ・ 「あこう元禄“しお”回廊」参考資料
- ・ 赤穂市漁業協同組合が計画する集客施設参考資料

赤穂市 旧塩倉庫 現況写真



全景



入口



内部

赤穂市 旧塩倉庫 現況写真



手前漁協用地



海側より



高台より

- ・ 計画地の位置図
 - ・ 敷地図
 - ・ 現況の写真
- ・ 「あこう元禄“しお”回廊」参考資料
- ・ 赤穂市漁業協同組合が計画する集客施設参考資料

現地調査

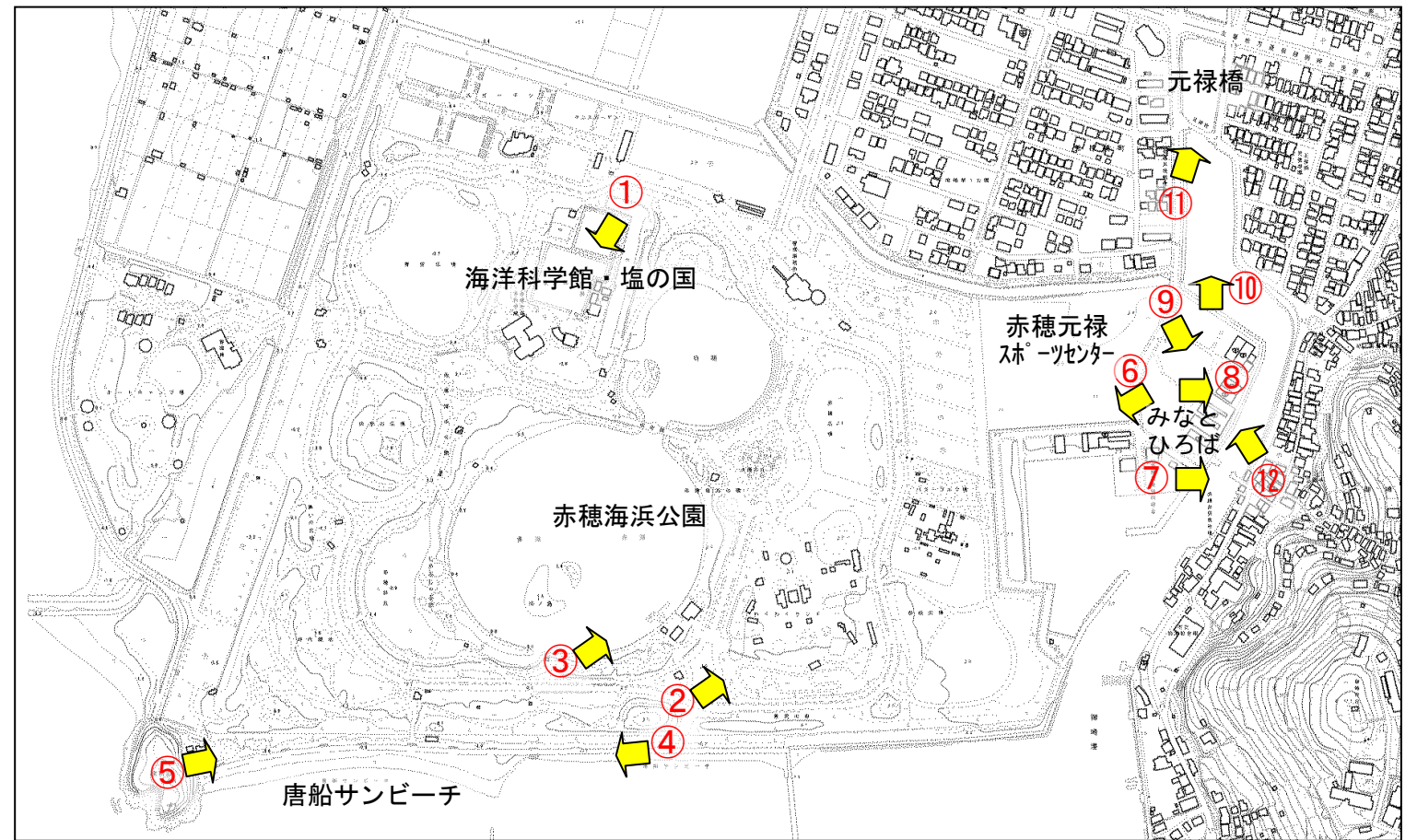
本地区の現状を把握するため現地調査を行った。
その結果を下図に示す。



①海洋科学館・塩の国
瀬戸内海と塩をテーマとした科学館。屋外には塩田もあり、学生の教育の場ともなっている。東浜塩田跡地が活用されている。



②赤穂海浜公園
多くの市民で賑わう公園。タテホわくわくランド（遊園地）、動物ふれあい村、海洋科学館、オートキャンプ場などがある。



③赤穂海浜公園（赤湖）
公園の中心部にある池でボートやカヌーが楽しめる。



④唐船サンビーチ
潮干狩りや海水浴の楽しめるビーチ。赤穂海浜公園からもアクセスできる。



⑤唐船山
県下最低峰として有名。丸太階段やパーゴラ、案内サイン等が整備され、赤穂海浜公園や御崎、瀬戸内海への眺望が開けている。



⑥赤穂元禄スポーツセンター
市民の屋外スポーツ活動の拠点となっている。



⑦跳ね橋架橋跡
東浜塩田で製塩が行われていた頃、御崎地区に住む従業員の通用橋として跳ね橋が架けられていた。



⑧旧赤穂東浜塩業組合
昭和40年代の製塩工場建屋が残っている。



⑨みなとひろば
真砂土グラウンドが整備され、その周辺はアスファルト舗装で囲まれており、健康遊具、トイレ、駐車場がある。山の頂上に赤穂御崎灯台が見える。



⑩御崎港
プレジャーボート等が係留されている。元禄橋までは海上保安庁の管轄区域となっている。



⑪元禄橋
赤穂で現存している唯一のトラス橋が独特の景観を醸し出している。



⑫旧赤穂東浜塩業組合
対岸から見た旧製塩工場建屋



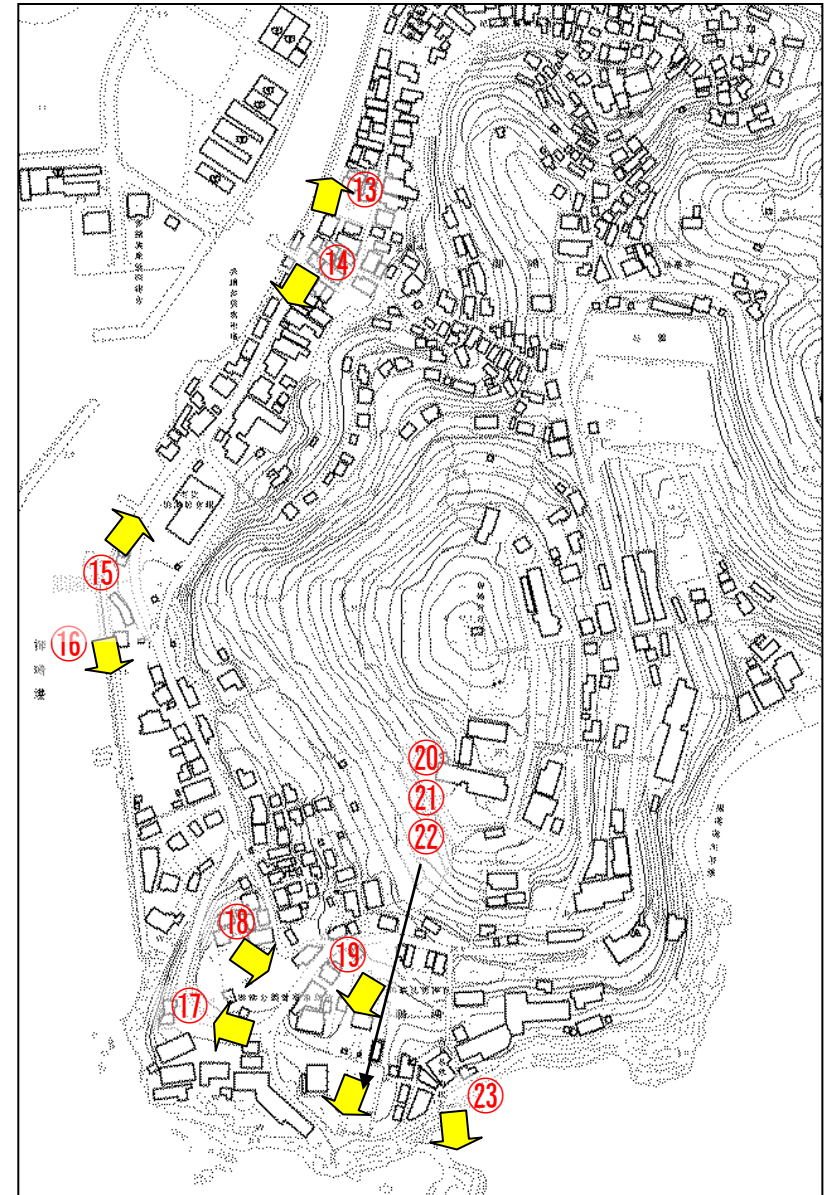
⑬海岸堤防
一部、管理用通路がある箇所では、歩行可能な空間となっている。



⑭赤穂温泉への道路
赤穂温泉街へのアクセス道路であるが、歩道がない。昔ながらのまち並みの残る箇所もある。



⑮田淵記念館
隣接する田淵邸築地塀は「わが街赤穂の景観 60 選」にも選ばれている。田淵家は塩田経営で栄えた地主。



⑯海岸堤防
マリーナ裏を通る管理用通路は歩行可能な空間となっている。



⑰赤穂温泉付近の道路
ILB で修景舗装されている。路線バスや観光周遊バス「陣たくん号」が運行している。



⑱無料駐車場
観光客等の車で平日でも満車となっている。



⑲展望を活かしたカフェ
伊和都比売神社の駐車場に隣接している海への展望を活かしたカフェ。赤穂温泉街にはカフェや雑貨店などが点在している。



⑳伊和都比売神社
航海安全として参拝される他、恋人を得るご利益のある『姫守』を受ける人も多い神社で、瀬戸内海への眺望が素晴らしい。



㉑一望の席
伊和都比売神社の一角にある恋人の聖地。



㉒遊歩道展望スポット
伊和都比売神社の下にある遊歩道のアルコープ。高木を剪定・間伐すればかなり眺望の良いスポットとなる可能性がある。



㉓畳岩
6～9月、畳岩周辺で夜に海ホタル観察会が行われる。



②④きらきら坂
飲食店や雑貨店等が並ぶ道。毎月第三日曜日には、にちよう朝市「御崎マルシェ」が開かれている。



②⑤遊歩道
遊歩道は、福浦海岸や大塚海岸ともつながっている。赤穂コールドロン（カルデラ）の地層を見ることができる箇所がある。



②⑥遊歩道
西から福浦海岸を見る。瀬戸内海の島々や海岸線への眺望を楽しむことができる。遊歩道の途中には休憩スポット等はない。



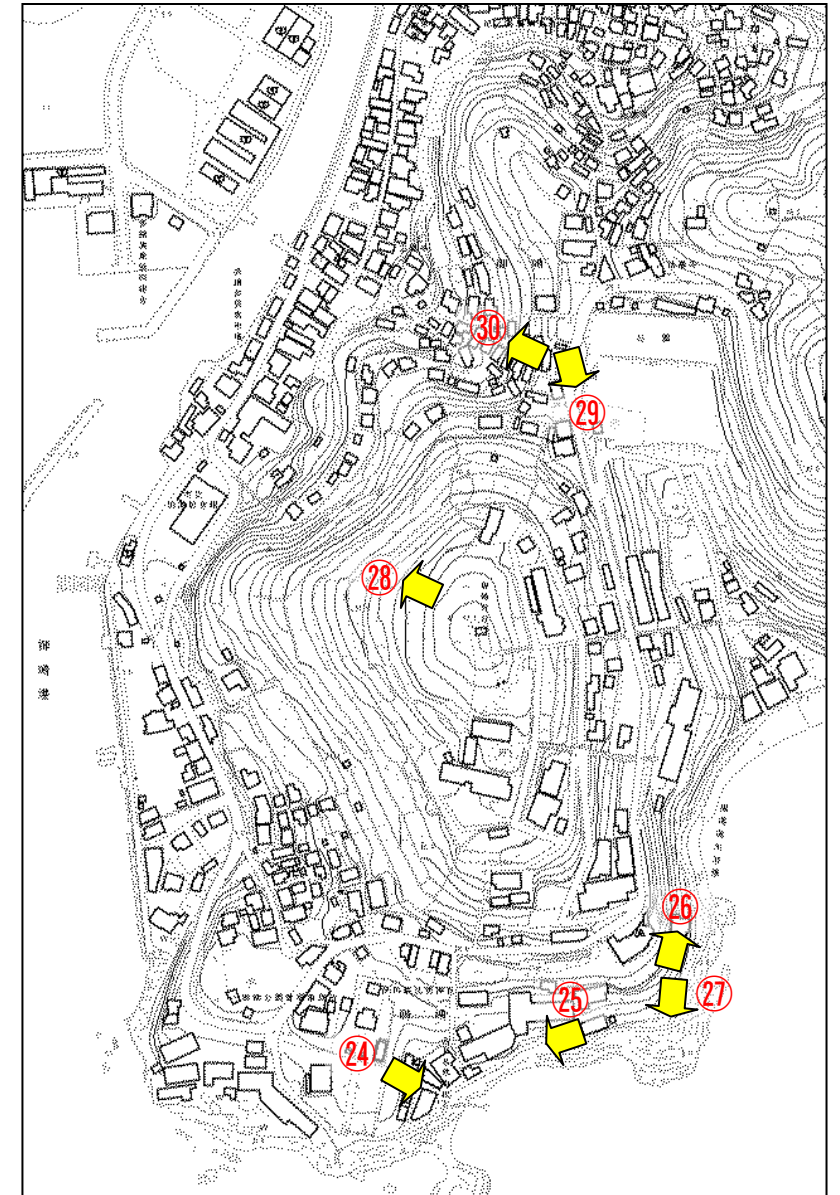
②⑦遊歩道
遊歩道の途中の広がりのある箇所。展望スポットや休憩スポットとしての可能性がある。



②⑧赤穂御崎灯台
灯台付近から南へは廃墟、竹やクズをはじめとする雑草の絡みついた高木等により海への眺望が阻害されているが、西側は一部赤穂海浜公園や市街地への眺望が開けている箇所がある。



②⑨海への眺望
道路から南に海が見える箇所。葛等を伐採すれば眺望の開ける箇所が多く、道路沿いに景色を眺めながら歩くことができる。



③⑩海への眺望
道路から西へ集落越しに海が見える箇所。美しい夕日を眺めることができる。

- ・ 計画地の位置図
 - ・ 敷地図
 - ・ 現況の写真
- ・ 「あこう元禄“しお”回廊」参考資料
- ・ **赤穂市漁業協同組合が計画する集客施設参考資料**

(参考) 赤穂市漁業協同組合が計画する集客施設(水産物直売所・飲食店等)

実施主体	赤穂市漁業協同組合 赤穂市御崎1798-1
計画箇所	赤穂市御崎1782-12
敷地面積	2,579.21 m ²
地目	宅地
所有者	赤穂市漁業協同組合
土地利用上の制約	市街化調整区域(土地利用計画との整合性を計る。)
事業目的	<p>赤穂市坂越産のカキはブランド化が進んでおり、京阪神地域をはじめ、東京にも出荷されている。11月～3月のカキのシーズン中は、赤穂市坂越地区にある漁協の直売所及び海の駅に多数の観光客が訪れているが、駐車場が狭隘なため十分な客数の受け入れが困難な状況である。</p> <p>そのため、赤穂市御崎地区にある未活用の自己所有地において水産物直売所を中心とした集客施設を整備し、6次産業化を推進し、観光客を誘客するとともに漁業振興を図るものである。</p>
計画概要	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容、事業規模、設置・運営方法等について検討中。 ・冬場はカキを中心とした事業を行うが、カキシーズン以外の誘客が課題であるため、赤穂市が進める「あこう元禄”しお”回廊」構想と連携して事業を推進する。
赤穂市の漁業	<ul style="list-style-type: none"> ・赤穂市坂越産のカキ(11月～3月) <ul style="list-style-type: none"> 清流100選にも選ばれた千種川が流れ込み、山からの豊富な栄養分を食べて育つカキは、通常出荷までに2～3年かかるところが1年で大きく成長するため、1年カキとも言われており、えぐみがなく、ぷりぷりジューシーで、加熱しても縮むことがないのが特徴。 食べ方は殻付きのまま炭火で焼いたり、ご家庭では蒸したり電子レンジでチンして食べるのがおすすめ。その他、生ガキはもちろん、カキフライやお鍋に入れても縮まないののでおいしくいただける。 例年2月初旬に「赤穂海浜公園」で開催される「赤穂かきまつり」には、京阪神地域からの観光客も含め約2万人が来場。 ・その他の魚種 <ul style="list-style-type: none"> イカナゴ、シラス、カレイ、エビ、カニ、マダコ、白魚等 ・ノリ養殖